



## 製品情報

IBM eServer xSeries 440

製品概要      製品仕様

### エンタープライズX-アーキテクチャー (EXA)に対応した ミッション・クリティカル・アプリケーションのための新世代サーバー

メインフレームゆずりの先進技術で、  
かつてない革新的なパフォーマンスや  
拡張性、可用性を実現する新IAサーバー



- 高性能サーバー向けIntel® Xeon™プロセッサMP搭載で、卓越の処理能力を実現
- IBMのチップ・セットXA-32の採用により、エンタープライズX-アーキテクチャー (EXA)を実現
- ニーズに応じてシステムを柔軟に拡張できるXpandOnDemand™ に対応したデザイン
  - 最大8ウェイSMPまで拡張可能、将来は16ウェイSMPにも対応予定 ※1
  - 6個のPCI-Xスロットを標準装備、オプションのRXE-100 リモート拡張ユニットにより、さらに12個まで拡張可能
- 「Project eLiza」コンセプトに基づく自己修復、自己管理、自己最適化機能を各所に搭載
- ニーズに応じて選べるモデル構成
  - 8687-2RX: Intel® Xeon™ MP 1.50GHz (512KB ECC L3キャッシュ) 搭載モデル
  - 8687-3RX: Intel® Xeon™ MP 1.60GHz (1MB ECC L3キャッシュ) 搭載モデル

※ 1U=約44mm

※1 開発意向表明

開発意向表明についての製品化・サービス化は、IBMの今後の技術上および経営上の判断により最終決定されるものであることとお断りさせていただきます。

### Intel XeonプロセッサMPなど最新のテクノロジーで高パフォーマンスを実現

Intel®の高性能サーバー向け新世代CPU・Intel® Xeon™プロセッサMPを標準で2個搭載(最大16ウェイまで対応予定\*)。1個のCPUを仮想的に2個のCPUとして機能させる「ハイパー・スレッディング」技術により、高効率で高速な処理を実現します。また、CPUの能力を十二分に引き出す四次キャッシュ(Xcel4アクセラレーター・キャッシュ)を装備し、400MHzフロント・サイド・バスや133MHz-64bit PCI-Xスロットとともにシステム全体のスループットを向上させます。さらに、ネットワークは1000Base-TX対応のコネクターを標準装備し、これからの大量コンテンツ時代に対応した高パフォーマンスを実現します。

### EXAをフルに機能させるIBMの高性能チップ・セット「XA-32」を搭載

xSeries 440は、チップ・セットに、IBMの最先端半導体技術である「銅配線」や「SOI (シリコン・オン・インシュレーター)」を取り入れた「XA-32」を採用。これにより、チップ・セットの低発熱化、高速化を両立させると同時に、IAサーバーに新機能を付加するエンタープライズX-アーキテクチャーを実現。CPUやメモリー、I/Oポートを集合(ノード)単位で柔軟に追加させることができる「XpandOnDemandスケラビリティ」にも、「XA-32」

の採用により対応可能となっています。

標準装備のCPU2個は最大8個まで拡張可能で、将来的には現在の資産を活かしたまま16CPUまで拡張可能となる予定です\*。また、I/Oポートも外部の拡張装置「RXE-100」を高速ケーブルで接続することにより拡張が可能で、4Uというスリムな筐体ながら優れた拡張性を提供します。

### 「Project eLiza」コンセプトを具現化し高可用性を実現する多数の先進技術

IBMが総力をあげて取り組んでいるAutonomic Computing 開発プロジェクト「Project eLiza」。

そのコンセプトに基づき、xSeries 440は各種の高度な自己修復機能や高可用性のための先進機能を搭載。例えば、メモリーの一部に不具合が生じた場合、その部分を回避することで、メモリーを交換しなくてもシステムを稼働し続けることができるメモリーProteXion™ 技術や、複数ビットのエラーを自動修正して可用性を高めるChipkill™ ECCメモリーを採用。また、2個のホット・スワップ・リダンダント電源機構や、4個のホット・スワップ可変速ファンの搭載により、個々のパーツに障害が発生した場合でも、システムを止めることなく交換を行うことが可能です。

### システムのトータル・コストを削減する優れた信頼性と効率的な管理機能

xSeries 440はまた、ハードウェアの故障箇所をパネル上のライトで確認できるLight-Path機能や、遠隔からのシステム監視を実現するリモート管理アダプターなどを搭載。さらにこれらを、xSeries 440に標準添付されたパワフルな統合システム管理ソフトウェア「IBM Director」と組合せて利用することで、優れた信頼性はもちろん、既存システム環境のより有効な活用や、物理的に分散したIT資産の、インターネットを介しての効率的管理を実現。また、ダウンタイムの削減やサービス/サポート・コストの削減などにより、システム全体のトータル・コストの削減が可能となります。

◆ [上に戻る](#)

- 1 このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。また、仕様は事前の予告なしに変更する場合があります。
- 2 画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。
- 3 このカタログの情報は2002年3月現在のものです。
- 4 製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。
- 5 当カタログ記載の製品にプリインストールあるいは添付されているソフトウェア製品につきましては、その梱包方法および内容物に関し、市販されているものとは異なる場合があります。

- ・ IBM、IBMロゴ、eServer、xSeries、ServerGuide、ServeRAIDはIBM Corporationの登録商標。
- ・ Microsoft、Windows、Windows NTおよびWindowsロゴはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標。
- ・ Pentium、MMX、Intel、Itanium、Xeon、Intel Inside(ロゴ)はIntel Corporationの米国およびその他の国における商標。
- ・ 他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。



## 製品情報

IBM eServer xSeries 440

製品概要 製品仕様

### xSeries 440 製品仕様

モデル		8687	
		2RX	3RX
タイプ		ラック(4U)※1	
プロセッサ	搭載CPU数	2(最大8)	
	タイプ	Intel® Xeon™ MP	
	内部周波数	1.50GHz	1.60GHz
	外部周波数	400MHz(100MHz QP)	
	三次キャッシュ	512KB ECC	1MB ECC
	SMPアップグレード※2	Intel® Xeon™ 1.50GHz	Intel® Xeon™ 1.60GHz
	CPUアップグレード	Intel® Xeon™ 1.60GHz	-
四次キャッシュ(Xcel4サーバー・アクセラレーター・キャッシュ)		32MB/最大64MB※6	
チップ・セット		IBM XA-32	
主記憶容量 (PC1600 DDR SDRAM)	標準容量	2GB ECC RDIMM	
	DIMM装着状況	4 × 512MB	
	DIMMソケット数(空)	32(28)※6	
	最大容量※3	32GB※6	
ビデオ・サブシステム		SVGA(S3 Savage4)	
ビデオ・メモリー		8MB	
ディスク・インター フェース	タイプ	Ultra160 SCSI(オンボード)	
	チャンネル数	2	
	内部コネクタ	1	
	外部コネクタ	1	
補助記憶装置 (内蔵)	FDD	3.5型(1.44MB/720KB)	
	標準HDD容量	オープン	
	最大HDD容量 ※4	146.8GB	
	CD-ROM	24倍速IDE	
	TAPE	-	
ストレージ・ベイ (空)	5.25/3.5型ハーフ フایت	1(0)(ウルトラベイ・デバイス)	
	3.5型スリムハイ ト	1(0)(ウルトラベイ・デバイス)	
	ホット・スワップ・ ベイ	2(2)	

PCI スロット(空)	66MHz - 64bit	2(2) (Active PCI-X対応)
	100MHz - 64bit	2(2) (Active PCI-X対応)
	133MHz - 64bit	2(2) (Active PCI-X対応)
インターフェース	リモートI/Oポート、USB×3(フロント×1、リア×2)、シリアル(システム管理プロセッサ用)、システム拡張ポート、キーボード、マウス、ディスプレイ	
ネットワーク・インターフェース	全二重 Ethernet 10Base-T/100Base-Tx/1000Base-T (Media Access Controller) (Broadcom5700)	
システム管理アダプター/プロセッサ	リモート管理アダプター(同等品標準装備)	
本体寸法	483mm(W) × 698mm(D) × 178mm(H)	
質量	39.9kg(最小)、50.0kg (最大)	
電源ユニット定格出力	2/2(1050Wリダンダント)(オートリスタート付き)	
発熱量(最大構成 / 最小構成)	800W(2,728Btu/Hr) / 361W(1,303Btu/Hr)	
入力電力(最大 / 最小)	-	
消費電力(最大 / 標準)	-	
エネルギー消費効率 ※5	F 区分、0.075	F 区分、0.071
添付ソフトウェア	IBM Director V3.1、ServerGuide	
付属品	電源コード、CNGMA 5-15P×2、IEC320-C14×2、電源スイッチ・カバー、ラック対応レール、ラック導入用テンプレート、ユーザズ・リファレンス、インストール・ガイド、ドキュメントCDパック	

※1 1U=約44mm。

※2 SMP アップグレードを行う場合は、同じタイプおよび周波数のプロセッサを使用してください。

※3 標準で装着されているメモリーを取り外し、より大きいサイズのメモリーで構成する必要があります。

※4 標準搭載のハードディスクを取り外し、より大きいサイズのハードディスクで構成する必要があります。ハードディスク容量に関しては、MBは百万バイトを表し、GBは10億バイトを表します。

※5 エネルギー消費効率とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(昭和54年度第49号、以下「省エネルギー法」という。)で定める測定方法により測定した消費電力を省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。

※6 拡張モジュールを使用した場合

### サポートOS

- Microsoft® Windows® 2000 Server(SP2)
- Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server(SP2)
- Microsoft® Windows NT® 4.0 Server Enterprise Edition (SP 6a)
- Novell NetWare 6J(SP1)

[↑ 上に戻る](#)

- 1 このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。また、仕様は事前の予告なしに変更する場合があります。
- 2 画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。
- 3 このカタログの情報は2002年3月現在のものです。
- 4 製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。
- 5 当カタログ記載の製品にプリインストールあるいは添付されているソフトウェア製品につきましては、その梱包方法および内容物に関し、市販されているも

のとは異なる場合があります。

- IBM、IBMロゴ、eServer、xSeries、ServerGuide、ServeRAID、Chipkill、eLiza、Memory ProteXion、XA-32、X-Architecture、Xcel4、XpandOnDemandはIBM Corporationの登録商標。
- Microsoft、Windows、Windows NTおよびWindowsロゴはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標。
- Pentium、MMX、Intel、Itanium、Xeon、Intel Inside(ロゴ)はIntel Corporationの米国およびその他の国における商標。
- 他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。